

カラスガイ

Cristaria plicata (Leach)

イシガイ目イシガイ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

水路の改修工事により生息環境が悪化しているため。

形態

殻は後背縁が張り出した卵円形。幼貝では後背縁の翼状突起が特に発達する。県内では殻長が20cmを越える個体も見つかっている。殻の内側に弱い後側歯のあることがドブガイ類との識別点となる。

国内分布

本州と北海道。

県内分布

柴山潟のほか、2008年初めに邑知潟の水路でも生息が確認された。今江潟干拓地でも死殻が得られている。

生態

水路の砂泥底に生息する。

生息地の条件

生貝が潜る砂泥底と幼生が寄生する魚類（ハゼ類など）の存在が条件。

生存の危機

水路の改修工事による砂泥底の消失。外来魚の侵入により幼生の寄主となる魚類がいなくなること。
(A, C)

特記事項

柴山潟と邑知潟では水路以外の生息状況が不明であるため、潟本体における調査が必要である。ドブガイ等と混同されていることが多いので、既存情報については精査が必要である。

参考文献

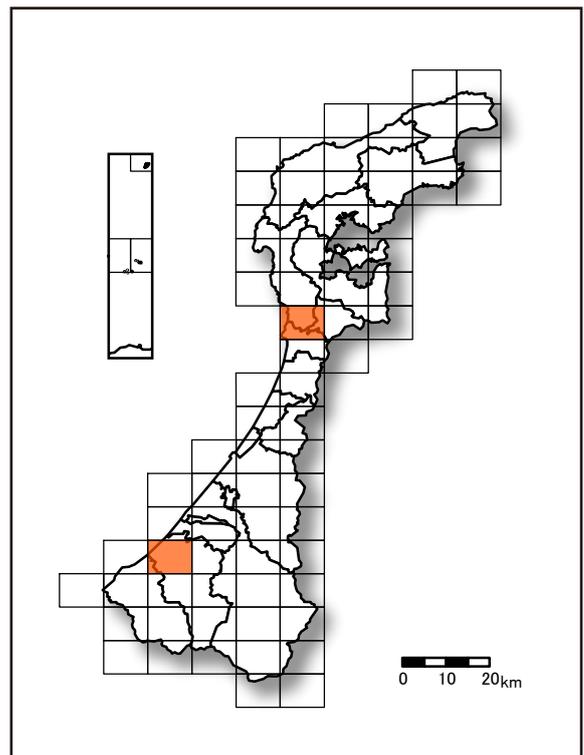
近藤高貴 2005. カラスガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 陸・淡水産貝類: 355.

近藤高貴 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号. 69pp. 日本貝類学会

増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.



写真提供者: 石原一彦



県内の分布